

議題4

第2期千葉市国民健康保険事業健全化に向けたアクションプランについて

「第2期千葉市国民健康保険事業健全化に向けたアクションプラン」(H27年3月)(以下「第2期国保AP」)における数値目標のうち、「保険料収納率(全体)」と「ジェネリック医薬品の利用率」については、下記のとおり見直したい。

1 保険料収納率

- ・第2期国保APの数値目標は上位プランの「千葉市財政健全化プラン」(H26年3月)と連動した数値を掲げている。
- ・現年と滞納繰越を合わせた全体の保険料収納率は、H27年度決算の数値が次年度以降の目標を上回る見込みである。
- ・H28年3月末予定の「千葉市財政健全化プラン」の中間見直しに合わせて、第2期国保APの数値目標を見直したい。

	実績			第1期アクションプラン数値目標(H26)	第2期アクションプラン数値目標(%)		
	H24	H25	H26		H27	H28	H29
現年分	89.1	89.7	90.0	90.0	90.5	90.9	91.2
滞納繰越分	17.4	20.0	21.0	19.9	20.4	20.8	21.1
全体	71.6	73.6	75.9	74.1	75.8	76.0	76.1

目標を上回った理由

徴収対策を着実に推進してきたことで、目標収納率を上回る実績となった。その結果、滞納繰越額が減少し、全体に占める「現年分」の割合がより高くなったことで、全体の収納率が「現年分」側に影響を受やすくなった。

↓ ↓
上位プランに合わせて見直し予定

77.1 (決算見込)	78.7	78.8
----------------	-------------	-------------

2 ジェネリック医薬品の利用率

- ・「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」(H25年4月)にあわせて、H29年度の数値目標を60%と設定した。
- ・「骨太の方針」(H27年6月)で国としての目標数値の上方修正が決定された。
- ・新指標の定義が変更されるとともに、変更後の新指標の実績を算定する環境も整備された。
- ・国の動向及びH27年度末の実績を踏まえつつ、第2期国保APの数値目標を見直したい。

	実績			第1期アクションプラン数値目標(H26)	第2期アクションプラン数値目標(%)		
	H24	H25	H26		H27	H28	H29
ジェネリック医薬品の利用率	29.2	32.3	【旧】36.7 【新】54.8	40.0	54.0	57.0	60.0

※【旧指標】(第1期国保AP):『後発医薬品/全医療用医薬品』の数量シェア
 【新指標】(第2期国保AP):『後発医薬品/(後発医薬品のある先発医薬品+後発医薬品)』の数量シェア

↓ ↓
H27実績を踏まえて見直し予定

57.0 (H27.12現在)	H27実績とH29目標の中間値	70.0以上
--------------------	-----------------	---------------

ジェネリックの普及に関する国の方針

- H25年4月 「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」(厚生労働省)
- ・ジェネリック医薬品の数量シェアをH30年3月末までに60%以上とする。
- H27年6月 「経済財政運営と改革の基本方針2015(骨太の方針)」(経済財政諮問会議)
- ・2017年(H29年)中に70%以上
 - ・2018年度(H30年度)から2020年度(H32年度)末までの間のなるべく早い時期に80%以上
 - ・2017年中央において、その時点の進捗評価を踏まえて、80%以上目標達成時期を具体的に決定する。